

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,140	33.3	250	105.7	277	105.5	266	113.7
25年3月期第2四半期	3,857	△18.3	121	2.2	134	101.7	124	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 270百万円(141.9%) 25年3月期第2四半期 111百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	56	66	—	—
25年3月期第2四半期	26	51	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
26年3月期第2四半期	11,876	—	5,162	43.5	
25年3月期	10,606	—	4,929	46.5	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,162百万円 25年3月期 4,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	9,857	20.0	508	87.6	490	82.4	345	30.2	73.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	4,746,000株	25年3月期	4,746,000株
26年3月期2Q	40,889株	25年3月期	40,889株
26年3月期2Q	4,705,111株	25年3月期2Q	4,705,158株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策等の効果や期待感を背景に、円安により輸出は回復基調で推移し、株価の上昇が資産効果を通じて個人消費を押し上げるなど、景気回復の兆しが見られました。しかしながら、海外経済の停滞や新興国の緩慢な動きによる景気下振れリスクも存在しており、先行き不透明な状況が続いております。また、当社グループを取り巻く環境は、主原料（魚粉・小麦粉）価格の高騰や燃料、石油関連資材、電気料金及び販売輸送費の値上がりの影響を受けております。また、消費者の節約・低価格志向が根強く、企業間の競争も続く厳しい経営環境で推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動の展開とともに収益力の向上に努めてまいりました。一方、事業領域の拡充及び販路拡大など攻めの販売体制を強力に推し進めるなか、本年7月31日に株式会社向井珍味堂を子会社化（100%子会社）いたしました。

なお、株式会社向井珍味堂につきましては、当第2四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）を支配獲得日とみなして処理しているため、同社の業績は当第2四半期連結累計期間に含まれておりません。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は51億40百万円と前年同四半期と比べ12億83百万円（33.3%）の増収、営業利益は2億50百万円と前年同四半期と比べ1億28百万円（105.7%）の増益、経常利益は2億77百万円と前年同四半期と比べ1億42百万円（105.5%）の増益、四半期純利益は特別利益に負ののれん発生益が92百万円計上されましたが、法人税等が93百万円増加したことから2億66百万円と前年同四半期と比べ1億41百万円（113.7%）の増益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第2四半期連結会計期間の売上高は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ高くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、養魚用配合飼料の主原料である魚粉は、新興国の需要が底堅く、南米で生産される魚粉相場は依然として高値圏で推移しております。

このような状況のなか、原料高騰分を販売価格に転嫁して値上げを実施したところ、エビ飼料類は前年並みに推移いたしました。魚飼料類は、値上げ前の駆け込み需要があったことやハマチ・マダイ飼料類等の受託生産販売が好調に推移したことから、売上高は36億88百万円と前年同四半期と比べ6億16百万円（20.1%）の増収となりました。セグメント利益は2億59百万円と前年同四半期と比べ14百万円（6.1%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、消費者の節約・低価格志向が継続するなかで、企業間の販売・価格競争が厳しさを増し厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、即席めん類は、価格競争や他社大手メーカーの新商品の販売攻勢を受けたことなどから売上高は減少しましたが、皿うどん類が好調に推移いたしました。また、平成24年7月に子会社化し、前第2四半期連結会計期間末から連結の範囲に含めたコスモ食品株式会社のカレールー及びジャム等の販売も順調に推移したことなどから、売上高は14億52百万円と前年同四半期と比べ6億66百万円（84.8%）の増収となりました。セグメント利益は1億33百万円（前年同四半期は156千円）と大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ12億70百万円増加し、118億76百万円となりました。これは、主として現金及び預金が6億31百万円、受取手形及び売掛金が6億5百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ10億36百万円増加し、67億14百万円となりました。これは、主として長期借入金が6億50百万円、買掛金が2億53百万円、未払法人税等が1億38百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ2億33百万円増加し、51億62百万円となりました。これは、主として利益剰余金が2億28百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年7月31日に株式会社向井珍味堂の株式を取得し子会社化(100%子会社)いたしました。平成25年5月15日に公表いたしました業績予想に比べ影響が僅少であったことから、当初の業績予想を修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、株式会社向井珍味堂の発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末としているため、当第2四半期連結累計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,580,048	2,211,420
受取手形及び売掛金	1,582,051	2,187,945
有価証券	75,269	78,268
商品及び製品	437,087	454,269
仕掛品	112,515	95,189
原材料及び貯蔵品	963,819	1,085,702
その他	522,909	254,314
貸倒引当金	△16,276	△11,910
流動資産合計	5,257,424	6,355,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,232,938	1,217,263
機械装置及び運搬具(純額)	639,903	723,300
土地	1,968,436	2,089,004
その他(純額)	96,079	45,573
有形固定資産合計	3,937,356	4,075,142
無形固定資産		
のれん	457,467	433,390
その他	34,355	32,255
無形固定資産合計	491,823	465,646
投資その他の資産		
投資その他の資産	962,642	1,045,503
貸倒引当金	△42,563	△64,600
投資その他の資産合計	920,078	980,903
固定資産合計	5,349,258	5,521,691
資産合計	10,606,682	11,876,891

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	534,018	787,670
短期借入金	2,343,050	2,277,422
未払法人税等	9,436	147,844
賞与引当金	113,378	116,796
その他	302,006	330,678
流動負債合計	3,301,890	3,660,411
固定負債		
長期借入金	1,755,500	2,405,696
退職給付引当金	43,195	73,573
役員退職慰労引当金	383,494	389,654
その他	193,313	185,020
固定負債合計	2,375,503	3,053,944
負債合計	5,677,394	6,714,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,807,701	4,036,644
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	4,841,032	5,069,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,937	43,234
繰延ヘッジ損益	46,318	49,325
その他の包括利益累計額合計	88,255	92,560
純資産合計	4,929,288	5,162,536
負債純資産合計	10,606,682	11,876,891

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,857,228	5,140,472
売上原価	3,159,390	4,051,495
売上総利益	697,837	1,088,976
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	176,157	209,464
貸倒引当金繰入額	—	31,441
給料及び賞与	119,613	201,631
賞与引当金繰入額	33,245	33,240
役員退職慰勞引当金繰入額	4,518	6,160
その他	242,706	356,914
販売費及び一般管理費合計	576,239	838,852
営業利益	121,597	250,124
営業外収益		
受取利息	164	190
受取配当金	1,791	2,576
為替差益	10,738	12,848
雑収入	25,350	27,299
営業外収益合計	38,045	42,915
営業外費用		
支払利息	11,612	15,585
雑損失	13,142	217
営業外費用合計	24,754	15,803
経常利益	134,889	277,236
特別利益		
負ののれん発生益	—	92,765
特別利益合計	—	92,765
税金等調整前四半期純利益	134,889	370,002
法人税、住民税及び事業税	9,320	79,350
法人税等調整額	850	24,067
法人税等合計	10,171	103,418
少数株主損益調整前四半期純利益	124,717	266,584
四半期純利益	124,717	266,584

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	124,717	266,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,955	1,297
繰延ヘッジ損益	761	3,006
為替換算調整勘定	△7,558	—
その他の包括利益合計	△12,752	4,304
四半期包括利益	111,965	270,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,965	270,888
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	134,889	370,002
減価償却費	138,695	143,841
のれん償却額	—	24,077
負ののれん発生益	—	△92,765
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△577	16,093
賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,949	△4,995
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△68,232	6,160
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,637	1,267
受取利息及び受取配当金	△1,956	△2,767
支払利息	11,612	15,585
為替差損益 (△は益)	5,519	△11,779
売上債権の増減額 (△は増加)	△889,102	△499,327
たな卸資産の増減額 (△は増加)	74,260	100,979
仕入債務の増減額 (△は減少)	320,047	211,026
その他	△131,138	△52,223
小計	△380,396	225,173
利息及び配当金の受取額	2,394	2,787
利息の支払額	△12,259	△16,939
法人税等の還付額	1	235,953
法人税等の支払額	△39,414	△8,105
事業整理に伴う支出	△31,568	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461,242	438,870
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△33,039	△183,082
定期預金の払戻による収入	6,001	136,045
有形固定資産の取得による支出	△141,302	△128,323
有形固定資産の売却による収入	—	61,118
無形固定資産の取得による支出	—	△1,280
投資有価証券の取得による支出	△13,974	△9,047
投資有価証券の売却による収入	—	7,180
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,349,917	△357,555
その他	36,771	△1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,495,460	△476,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	2,820,000	△280,000
長期借入れによる収入	—	1,030,000
長期借入金の返済による支出	△142,000	△278,020
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△1,273
配当金の支払額	△37,641	△37,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,640,358	433,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,045	11,779
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	682,609	406,907
現金及び現金同等物の期首残高	840,863	1,293,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,523,472	1,700,716

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,071,327	785,901	3,857,228	—	3,857,228
セグメント利益	244,902	156	245,059	△110,170	134,889

(注) 1 セグメント利益の調整額△110,170千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費104,160千円、営業外収益10,701千円、営業外費用16,712千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間にコスモ食品株式会社を連結子会社化したことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第2四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメント資産の金額が2,378,105千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「食品事業」セグメントにおいて、コスモ食品株式会社の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これにより、のれんが481,545千円発生しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,688,294	1,452,178	5,140,472	—	5,140,472
セグメント利益	259,767	133,595	393,362	△116,126	277,236

(注) 1 セグメント利益の調整額△116,126千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費116,661千円、営業外収益9,823千円、営業外費用9,287千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間に株式会社向井珍味堂を連結子会社化したことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第2四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメント資産の金額が840,573千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「食品事業」セグメントにおいて、株式会社向井珍味堂の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これにより当第2四半期連結累計期間において特別利益に負ののれん発生益が92,765千円計上されております。